

安浦中学校 放課後文化部のスタート

2021(令和3)年4月、安浦中学校へ入学後は勉強や部活を通して、沢山の事を学び楽しみたいと思う新入生に対し、部活動は体育部主体で文化部は吹奏楽部のみでした。保護者は新入生の気持ちを汲み取り、署名運動をしたり学校や市に働きかけ、昨年11月安浦まちづくりセンターの協力を得て、「放課後文化部」を立ち上げました。

現在は、「安浦町子ども育成プロジェクト」として、①料理部 ②美術部 ③書道部の活動を、毎週水曜日16時30分～18時まで、安浦まちづくりセンターで始めました。

まだ暫くは保護者の手助けも必要ですが、楽しい部活動の発展を目指して行きますので、皆様のご協力をお願いします。



美術部の皆さん



書道部の皆さん



料理部の皆さん

みなさんの 健康づくりのお手伝い！

安浦保健出張所

安浦保健出張所は、あかちゃんからお年寄りまで、すべての住民を対象に、健康について相談できる身近な施設です。育児相談・総合検診・生活習慣病予防に関する教室・健康ウォーキング・さわやかクッキング・ストレッチング教室などの様々な行事を行ったり、家庭訪問も行っています。

子育ての困りごとや、子どもさんの成長・発達などについてもお気軽にご相談ください。

安浦町の皆さんが健康でいきいき生活できるよう、これからもお得な健康情報を発信していきます!!



右：藤井所長
中：大村保健師
左：藤井保健師

安浦保健出張所

安浦町民の健康を守る
ため頑張ります！

まちづくり活動・トピックス

南薫造記念館からのお知らせ



南薫造 田植え

会期：5月15日(日)まで ※火曜休館 入館料：一般200円・高校生120円・小中学生80円
※呉市内に在住・通学する高校生以下無料
※呉市在住の70歳以上はいきいきパス提示で無料

特集

山本譲 ー古き良き風景を見つめてー(開催中)

～4/17日まで
安浦町出身の山本譲(1904～1994)が描いた風景画15点に、南薫造が故郷の風景や風物について記した文章を添えて展示します。

●安浦町まちづくり協議会×南薫造記念館

連携座談会「山本譲について語ろう」

日時：3月26日(土)13:30～15:00

参加費：無料(入館料が別途必要)

申込：3月18日(金)までに電話で呉市文化振興課(25-3462)へ。先着16名。

まちづくり情報誌

たんと

TANTO

安浦の三富士

安浦町には、富士山に似た山が3つあり、いずれにも民話や歴史があります。

1つ目は、安登と中切地区の境にある表木山です。安登地区では日浦山、高鶴山とも呼ばれています。日浦山(日占山)とは、農民が山頂で日の出の位置によって、農耕の吉兆・作付けの時期等を占ったということです。

また、中切地区では山頂に竜王をまつり、雨乞いをしたので竜王山、地域をまとめていた庄屋格の屋号「表木」から表木山とも呼ばれています。

2つ目は、三津口地区の飯野山、この山は福成寺合戦で敗れた平氏が、安芸津の太田から風早に出て海岸沿いに逃げていたが、この山で追い付かれ戦になったと言われています。

3つ目は、グリーンピアせとうちの西行庵近くのスクモ山です。昔、大男が米の「すくも」を山の形に積んだとの民話があります。

みなさんも散策して、確認していただければと思います。

※「すくも」とは、もみがらのこと



表木山



飯野山

スクモ山

おでかけ情報 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止の場合もあります。)

3月	ストレッチング教室	3/15 (火) 10:00～11:30	安浦保健出張所
	安浦地区育児相談室	3/18 (金) 10:00～11:30	安浦保健出張所 1 階健康増進室
	河津桜	開花中	野呂川河口(実成新聞)

4月	まちづくり協議会定例会	4/5 (火) 18:00～19:00	安浦まちづくりセンター
	さわやかクッキング	4/8 (金) 10:00～12:30	安浦保健出張所
	やすうら青空市	4/10 (日) 9:00～11:00	安浦駅前・林田旅館跡地
	安浦地区育児相談室	4/15 (金) 10:00～11:30	安浦保健出張所 1 階健康増進室
	第92回きらめき音楽館	4/16 (土) 11:00～12:00	安浦まちづくりセンター・きらめきホール
	和☆Rockライブ	4/24 (日) 時間調整中	グリーンピアせとうち

5月	まちづくり協議会定例会	5/10 (火) 18:00～19:00	安浦まちづくりセンター
	さわやかクッキング	5/13 (金) 10:00～12:30	安浦保健出張所
	やすうら青空市	5/15 (日) 9:00～11:00	安浦駅前・林田旅館跡地
	ストレッチング教室	5/17 (火) 10:00～11:30	安浦保健出張所
	安浦地区育児相談室	5/20 (金) 10:00～11:30	安浦保健出張所 1 階健康増進室
	第93回きらめき音楽館	5/21 (土) 11:00～12:00	安浦まちづくりセンター・きらめきホール

6月	まちづくりセンター第37回学習発表会	6/3 (金) ～6/12 (日) 9:00～20:00	展示：まちづくりセンターロビー 舞台：まちづくりセンターきらめきホール
	まちづくり協議会定例会	6/7 (火) 18:00～19:00	安浦まちづくりセンター
	さわやかクッキング	6/10 (金) 10:00～12:30	安浦保健出張所
	やすうら青空市	6/12 (日) 9:00～11:00	安浦駅前・林田旅館跡地
	安浦地区育児相談室	6/17 (金) 10:00～11:30	安浦保健出張所 1 階健康増進室
	ストレッチング教室	6/21 (火) 10:00～11:30	安浦保健出張所

やすうら 記憶遺産



三津口の大井回漕店



内海丸と通い船

地域の交通体系が鉄道、そして自動車走る幹線道路を中心として変容を遂げる以前、瀬戸内海では地域の人々の基幹交通として船が欠かせない存在でした。

さて明治時代、瀬戸内海の津々浦々を拠点に小船主が暮らす風景を変えたのは関西海運界の大阪商船、尼ヶ崎汽船というふたつの大会社でした。明治20年代、相次いで開業したこの巨大汽船会社の影響を受け、安浦にも新しい商機、そして交通を担おうとする人々の気運が高まります。

明快な運賃で定刻通りに出航し荷客を安全に送り届けるという近代交通の精神を担い、安浦で最も活躍した船が「内海丸」でした。1899(明治33)年、岡田惇佑という人物が船主となり尾道・宇品間を毎日往復して人々を運びました。大正に入ると、汽船の他に発動機船もそろえ航路を増やし、また鉄道との荷客輸送の連携を図るなどしました。

当時、三津口のような浅瀬の港に大きな船は接岸できなかったため、回漕業という職業があり、櫓漕ぎの小さな「通い船」と呼ばれる伝馬船で、内海丸の旅客や荷物を運んでいました。瀬戸内海一帯で見られた光景で、この絵を描いた山本譲も実際に目にした懐かしい光景だったろうと思います。鉄道や自動車という近代交通に道を譲らざるを得ず、今では消えてしまった光景ですが、古き良き時代のにぎやかな人々の声が聞こえてきそうな絵ですね。

明治～昭和初期の瀬戸内航路



前主岡田惇佑 大正 中谷地区の風景 内海丸

山本譲 昭和

季節・旬な情報



県道：内海～三津線沿いの女子畑でヤギを飼っている割方さんは、夫婦と6歳・1歳の男の子とヤギ6匹の大家族。

女子畑大好き！夫健一郎さんの故郷に家を建てましたが、妻の遥花さんは広島市出身、当初はさみしいなと思ったそうです。

西日本豪雨災害の時、「こどものひろば武智丸」にボランティアさんがヤギを連れてきたのを見て、自分も飼いはじめました。

ヤギは畑の草を食べてくれるし、次第に地域の方とも親しくなり、昨年からはヤギを連れて、安浦の小学校や保育所でのちを大切に育てる心を育む「いのちのおはなし」の出前授業や、安浦駅前青空市への出店も始めました。

現在は家畜商の資格も取り、生まれた子ヤギの販売もしています。

割方ファミリーの想いは女子畑はいいなー!!と集まってくれる人を増やすこと。



割方ファミリーとヤギ



出前事業



青空市



手造ハム・ソーセージ製造・販売

ミュラー・オオタニ

呉市安浦町大字中切1489-2 TEL: 050-1182-1338

店主の大谷太さんは、約25年前に「ふるさと安浦の人たちに安全で本物のドイツ風のハムやソーセージを食べてもらいたい」という思いから、この仕事をはじめました。

店の名前「ミュラー・オオタニ」は、大谷さんが本場ドイツで修行した店の名前からつけました。ドイツ風のハム・ソーセージを主に造っており、原料は、抗生物質を使っていない健康な豚肉を使用し、ドイツの製法に従い、本場に近い品質のものを提供しています。

これまでに安登小学校でのベーコン作りの指導、安浦町・安芸津町・竹原市での給食用食材の提供、また、ふるさと納税の返礼品として協力し、地域に貢献しています。

商品の種類も多く、手造りのため数に限りがあり、売り切れの時はご容赦くださいとのことでした。



定休日/水・木・日 営業時間/11:00～13:00 14:30～17:30
定休日、営業時間が変更になることもあり、ご来店の際は事前にお店にご確認ください。



写真でみる今と昔

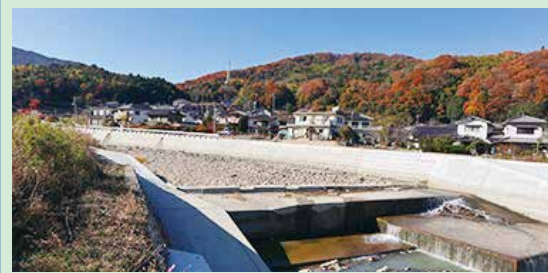
安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし。懐かしい風景を眺めたい。
※和暦のみ表記

内海北7丁目



昭和45年前後の写真と思われる。昭和42年7月豪雨災害による堤防破損の修理後である。旧南谷地区には中腹まで田圃が作られている。

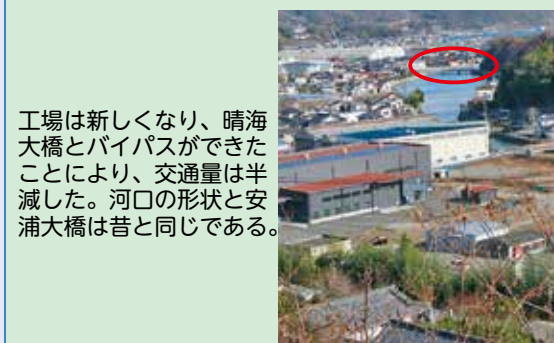


平成30年の西日本豪雨災害により堤防が大きく被災したが、復旧後の風景。

内海南2丁目



昭和30年頃の写真と思われる。呉線にSLが走り、野呂川河口と安浦大橋が写っている。(昭和37年呉線完全ディーゼル化実施)



工場は新しくなり、晴海大橋とバイパスができたことにより、交通量は半減した。河口の形状と安浦大橋は昔と同じである。